

平成23年度八王子市立小学校使用教科用図書調査研究報告書（選定資料作成委員会）

種目 算数 (1 / 2 枚目)

調査の観点	発行者名 東京書籍	大日本図書	学校図書
<p>1 内容 (1) 児童の発達段階に対する配慮がある。 (2) 学習指導要領に示された各学年の目標及び内容の押さえ方に対して配慮している。 (3) 各学年にわたる内容の取扱いに対して配慮している。 (4) 児童の意欲、関心を引き出す配慮がある。</p>	<p>(1) ・単元配列に無理がなく、発達段階に対する配慮がある。 ・第2学年で分数を習い、第3学年では小数 分数の順で指導している。 (2) 「考える力をのばそう」を配置し、思考力の育成を図っている。 (3) 時刻と時間で針を記入する際、時計が小さい。 (4) 第4・5学年の下巻には「算数おもしろ旅行」、第6学年下巻には「算数卒業旅行」を設け興味・関心をもって取り組める工夫がなされている。</p>	<p>(1) ・低学年は特に、スモールステップになっており、理解しやすい。 ・第2学年で分数を習い、第3学年では分数 小数の順である。 (2) 書き込みスペースを多く取り、書き込み授業がしやすい。 (3) 「ノートの達人になろう」ではノート指導がしやすい構成になっている。 (4) 巻末に切り取り教具があり、活動事例を載せて興味・関心を喚起している。また、「生活の中の算数」で日常現象の事例を紹介している。</p>	<p>(1) ・各単元ごとに、生活で経験したことを算数の内容を想起させる流れを設けており、導入が分かりやすくなっている。 ・第2学年で分数を習い、第3学年では小数 分数の順で指導している。 (2) 第6学年には別冊がついており、3学期に中学校内容の指導計画が組み込まれている。 (3) 目次に各学年で何を学習するのか、そのために前の学年で何を学習してきたのかが分かる工夫がある。 (4) ・巻末付録にはゲーム感覚で取り組める教材があり、児童の関心・意欲を引き出す効果がある。 ・作業や体験を通して、意欲をもたせる工夫がある。</p>
<p>2 構成及び分量 (1) 内容の組織配列及び発展的記述に対して配慮している。 (2) 各領域の分量について児童の発達段階を十分に配慮している。 (3) 教科の特質に即した主要教材において基礎的事項をおさえ、補充教材並びに発展教材等の取扱いに対して配慮している。</p>	<p>(1) 各単元の学習内容を更に深めたり、数学的な面白さを実感したりすることができる教材「おもしろ問題にチャレンジ」を設けて柔軟に扱える工夫がある。 (2) ・「おぼえているかな」で既習事項の確認ができ、内容の振り返りができるようになっている。 ・単元末には「しあげの問題」で単元内の振り返りも行える。 (3) 発展教材は「とびだせ」マークで明示している。また、「学び方ページ」で自分の考えをもち、他人の考えを尊重する学習態度を育成する工夫がある。更に、「ほじゅうの問題」コーナーがある。</p>	<p>(1) 発展教材は「わくわく算数」の中で各学年に配置されているので、使いやすい。また、読解力育成のため「読みとって考えよう」がある。 (2) ・単元間のつながりが分かるような工夫がある。 ・特にアプローチページでは単元内容につながりやすくなるような工夫がある。 (3) ・「ふりかえろう」では学習内容を振り返り、新たに考えたい事が何かという問いかけも重視した扱いになっている。 ・テープ図や数直線の体系的な学習が設定されている。</p>	<p>(1) 第6学年には別冊が付いており、中学校での学習内容に触れる事が出来るようになっている。 (2) 第2学年以上の適切な箇所に「計算の仕方を考えよう」のコーナーを設置している。 (3) ・各単元の評価問題が2種類ある。 ・力だめし は基礎・基本、力だめし は表現力・読解力育成にむけ評価できる問題になっている。 ・第3学年以上の「学び方」ページでは、具体的な思考の手順や観点を分かりやすく示している。</p>
<p>3 表記及び表現 (1) 児童にとって読みやすい表現である。 (2) 印刷、写真、挿絵、図形等が見やすく、分かりやすい。</p>	<p>(1) 文章を読みやすい位置で改行する工夫が多く見られる。 (2) ・コンパスの作図場面で視覚的に分かりやすいように連続写真での表現を取り入れている。 ・写真が鮮明で色もよわらかく、課題文やまとめの文などの文字が目立つ配慮がされている。</p>	<p>(1) ・児童にとって親しみやすい表現が使われている。 ・課題と発問の書体を変えて見やすい。 ・説明が少ない分、児童が主体的に考えることができる。 (2) ・敷き詰めなどの図形の学習ではミシン目を入れた教材を巻末に準備している。 ・行間もあり、すっきりした印象。</p>	<p>(1) 「もし、…だったら」とか「たとえば、…」といった算数の内容を説明するのに必要な言葉や用語を取り上げて表現力育成への工夫がある。 (2) ・印刷は色合いが綺麗で、見やすい。 ・写真等も見やすい。</p>
<p>4 使用上の便宜 (1) 全体の構成が見通せるように配慮している。 (2) 課題発見、課題解決に向けた学習が効果的に進められるように配慮している。 (3) 印刷・装丁に対して配慮している。 (4) 地域性に対して配慮している。</p>	<p>(1) 各単元のタイトル、小単元の区切りも分かりやすい。 (2) ・巻末に切り取り教具を配置し、ノート指導に重点を置いている。 ・「算数マイノート」で、学習後の「ノート事例」を扱っている。 自分の考えを書く書き込みの場所がある。 (3) 製本は針金綴じである。 (4) 地域性への配慮は、特に見られない。</p>	<p>(1) ・各単元のタイトルが見やすい。 ・リングマークの工夫がある。 (2) ・読解力の育成には「読みとって考えよう」というコーナーを設け、単元内には「もっと算数」で深める問題にも取り組ませている。 ・「奇数ページ起こし」を用いている。 (3) 製本方式はあじろ綴じで、頑丈で開きやすい造りになっている。 (4) 地域性への配慮は、特に見られない。</p>	<p>(1) 全体の構成が見通せるように適宜マークを使い、工夫されている。 (2) ・各学年の巻末には「算数アドベンチャー」がある。 ・総合的探究的な学習が行える。 ・「食」「環境」「伝統文化」に関しても取り扱いがある。 ・「奇数ページ起こし」を用いている。 ・「ノートの表記」で、ノートの書き方を、「レポートをかく」で、表現力を付ける工夫がある。 (3) 製本は針金綴じである。 (4) ・小中一貫教育に対する配慮がある。 ・日常生活関連の話題は豊富である。</p>
<p>5 総合所見 (1) 教科の指導及び児童の学習活動の視点から総合的にみてどうか。 (2) 現在八王子市で使用している教科用図書と比べてどうか。</p>	<p>(1) ・図や絵が分かりやすく、活用しやすい。 ・児童が考える過程を丁寧に説明しており、見通しをもった学習ができる。 (2) 現行の教科用図書同様、使いやすい。</p>	<p>(1) 考えさせる場面を多く取り上げ、その説明が丁寧である。 (2) ・現行の教科用図書と比べると、基礎的な内容の押さえが丁寧である。 ・色使いは、やや改善の余地を感じる。</p>	<p>(1) 基礎学力を付けるための押さえる文や問題が工夫された内容である。 (2) 現行の教科用図書であり、構成面は大きくは変わってはいない。</p>

平成23年度八王子市立小学校使用教科用図書調査研究報告書（選定資料作成委員会）

種目 算数 (2 / 2 枚目)

発行者名 調査の観点	教育出版	啓林館	日本文教出版
1 内容 (1) 児童の発達段階に対する配慮がある。 (2) 学習指導要領に示された各学年の目標及び内容の押さえ方に対して配慮している。 (3) 各学年にわたる内容の取扱いに対して配慮している。 (4) 児童の意欲、関心を引き出す配慮がある。	(1) 発達段階に応じた単元配列になっている。 ・第2学年で分数を習い、第3学年も分数 小数の順で展開されている。 (2) 「数と計算」領域を重点に 既習事項を確認できるようになっている。また、問題量も豊富で定着を図ろうとする工夫がある。 (3) 単元導入で既習事項をスパイラル的に提示している。 (4) 低学年では作業的・体験的な活動、中学年では実態や数量などを調査したり、実際に行ったり確かめたりする活動、高学年では既習事項などをと根拠をもって考えたりする活動を重視している。	(1) 教科書が「本編」「算数のまど」の2部構成である。 ・第2学年で分数を習い、第3学年も分数 小数の順で展開されている。 ・数直線図の書き方指導を丁寧に扱い、児童のスキル向上が図れる工夫がある。 (2) 身の回りの生活関連の教材が多く使われる。 (3) スパイラルに関する記述が数多く見られる。 (4) 「みんなで話し合おう」を設置し「算数の自由研究」コーナーがある。	(1) 「学習の進め方」があり、スムーズに学習ができる工夫がある。 ・第2学年で分数を習い、第3学年で小数 分数の順で展開されている。 (2) 配慮されている。基本的な内容の取扱いがしっかりしている。 (3) 「たしかめばいんと」での自己評価を踏まえ、「じっくりチェック(補充)」「ぐっとチャレンジ(発展)」から選んで学習するようになっている。 (4) ポスターづくりなど算数的活動の成果を残す活動を扱っている。
2 構成及び分量 (1) 内容の組織配列及び発展的記述に対して配慮している。 (2) 各領域の分量について児童の発達段階を十分に配慮している。 (3) 教科の特質に即した主要教材において基礎的事項をおさえ、補充教材並びに発展教材等の取扱いに対して配慮している。	(1) 本編の中に復習・発展・繰り返し練習を行っている。 ・「ステップアップ算数」も配置している。 (2) 「学びの3サイクル」として、「毎時の学習」「単元の学習」「家庭学習」の段階を位置付け、スパイラルな学習になっている。 ・単元の終わりに「練習」「まとめよう」「たしかめよう」があり、補充発展教材が十分にある。 (3) 図や数直線、式などを「思考の道具」「説明の道具」としている。	(1) 「学びをいかそう」という小単元を設けている。 (2) つまづきを早期に発見し、新単元の課題へと取り組める工夫がされている。たくさんの考えを載せているが、ヒントが多くなりすぎ、やや見にくさも感じる。 (3) 巻末には「もっと練習」「学年のまとめ」を設けている。	(1) 第3学年以上では自己評価を踏まえた「補充」と「発展」から選んで学習できるようになっている。 (2) 片寄ることなく、配慮されている。 (3) 各巻末には工夫された計算問題が掲載されている。 ・空欄に指定された条件を書き込むことで多様な計算が生まれるため、繰り返し学習できるようになっている。 ・計算以外の問題は、もの足りない。
3 表記及び表現 (1) 児童にとって読みやすい表現である。 (2) 印刷、写真、挿絵、図形等が見やすく、分かりやすい。	(1) 児童にとって親しみやすい表現やイラストが使われている。 (2) 見やすく、分かりやすい。 ・問題文の文字が やや小さい。 ・イラスト写真は見やすく、考えを深めさせる吹き出しも適切である。	(1) 文章を読みやすい位置で改行している。 (2) 練習問題の種類を分けている。 ・具体物やカラーの挿絵が効果的に使われている。	(1) 楽しさはあるが、やや読みづらい。 (2) 定期やコンパスの使い方等が見やすく指導には効果的である。 ・イラストや写真が多く、奇麗であるがやや多い。
4 使用上の便宜 (1) 全体の構成が見通せるように配慮している。 (2) 課題発見、課題解決に向けた学習が効果的に進められるように配慮している。 (3) 印刷・装丁に対して配慮している。 (4) 地域性に対して配慮している。	(1) 様々なマーク等で学習の全体像がみえるように配慮されている。 (2) 「話し合い」「発表」「ノート記述」などの算数的活動を重視している。 (3) 製本方式はあじろ綴じで、頑丈で開きやすい。 (4) 地域性として、「数学へのとびら」がある。	(1) 目次に「学習のながれ」(使い方)、巻頭の「学習の進め方」には問題解決型の授業展開例が示してある。 (2) 「地球と算数」のコーナーがあり環境に関する課題がある。 ・第6学年には「数学へのとびら」マークがあり、中学校の内容が見える。 (3) 製本方式はあじろ綴じで、頑丈で開きやすい。 ・紙が薄いためか前のページ、次のページが少し透けて見えてしまう。 (4) 小中一貫教育に対する配慮がある。 ・日常生活の素材を教材にしている。 ・西日本に関する写真が多い。	(1) 全体の構成は見やすい。 (2) 算数の問題について、どのように考え、どのように学習を進めていけば良いかがイメージできるようになっている。 ・問題、答えのページ割りに配慮している。 ・マップが巻末に入っていて、効果的である。 (3) あじろ綴じを採用している。 ・1社のみA/B判であり、やや扱いにくい。 (4) 地域性への配慮は特に見られない。 ・関西の資料が少し多い。
5 総合所見 (1) 教科の指導及び児童の学習活動の視点から総合的にみてどうか。 (2) 現在八王子市で使用している教科用図書と比べてどうか。	(1) 教科書に沿って学習していくと、丁寧に学習できる。 (2) 現行の教科書と比べると、児童が取り組む問題の量がやや多い。	(1) 学習内容の配列等が、優れている。 (2) 発展問題に、高度な手ごたえを感じる。	(1) 図や絵などを多く用いて 児童の活動の過程をたどりやすくしている。 (2) まとめが選択性になっており、児童に幅広く対応できる。 ・現行の教科用図書と比べると、考えを深める課題の量がやや少ない。